

平成27年3月期 第3四半期
決算概要

KANeKA

The Dreamology Company
— Make your dreams happen —

2015年2月9日(月)

株式会社 **力ネ力**

目次

- 業績概要 P. 3
- 四半期別 売上高・営業利益 P. 4
- セグメント別 事業概況 P. 5
- 業績予想 P. 6
- トピックス P. 7

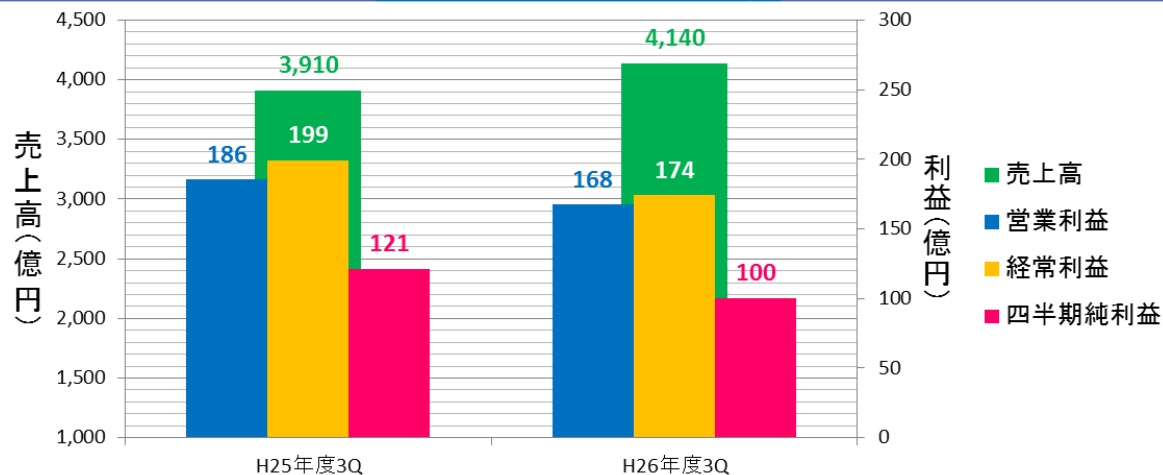
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績概要

- 売上高は、海外事業を中心に順調に推移し、対前年5.9%の増収。過去最高を更新。
- 利益は、2Qまでの一時的停滞の影響を受け減益。

(単位：億円)

	H25年度 3Q累計	H26年度 3Q累計
売上高	3,910	4,140
営業利益	186	168
経常利益	199	174
四半期純利益	121	100

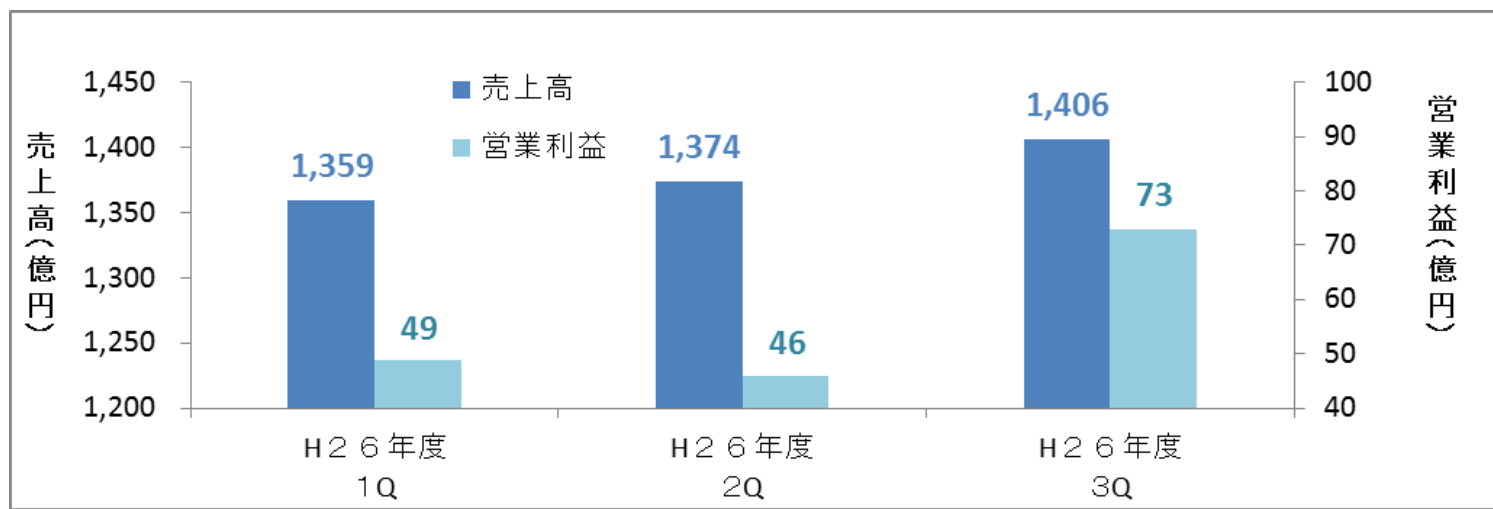


四半期別 売上高・営業利益

- 四半期ごとの売上高は、每期過去最高を更新中。
- 3Qの営業利益は、取り組んできた販売拡大策やコストダウンを始めとした事業収益改善策の成果により、1Q及び2Qの約5割増に拡大。

(単位：億円)

	H26年度 1Q	H26年度 2Q	H26年度 3Q
売上高	1,359	1,374	1,406
営業利益	49	46	73



セグメント別 事業概況

- 売上高は機能性樹脂、ライフサイエンスを中心に5セグメントで増収。
- 営業利益は機能性樹脂、ライフサイエンス、合成繊維が大幅増益となるも、食品及びエレクトロニクスの一時的な減益をカバーできず。

- 機能性樹脂：モディファイヤーは、欧米を中心に海外市場で事業が拡大。新製品の市場開発も進んだ。変成シリコンポリマーは、特に海外市場で販売が拡大。
- 食品：国内需要の伸び悩みと低価格志向の中で、新製品の拡販により売上高が拡大も、原料価格上昇の影響を受けた。2Q累計期間において一時的に経費が増加したが、3Qは販売物流システムや販社体制の整備強化によりコスト構造改善。
- ライフサイエンス：医療機器は、血液浄化システム、インターベンション事業ともに国内・海外向け販売が堅調に推移。医薬中間体は、販売数量が増加。API（医薬品としての有効成分を有する原体）やバイオ医薬分野も販売拡大。機能性食品素材は、サプリメント市場における還元型コエンザイムQ10のヘルスケア効果の認知が進み、販売堅調。
- エレクトロニクス：光学材料は、需要が順調に拡大し販売数量が増加。超耐熱ポリイミドフィルムと超高熱伝導グラファイトシートは、供給体制整備の遅れにより、拡大する需要に十分応えられなかったが、新工場の生産体制を強化して体制を構築。太陽電池は消費税率引上げ後の住宅着工戸数の大幅な減少という環境の中で、技術革新による世界最高レベルの変換効率を持つ新製品の開発やコストダウンなどの事業構造改革を進め、採算が改善。
- 合成繊維：アフリカ市場での頭髪分野を筆頭に、拡販とコストダウンに取り組み、円安も収益拡大に寄与した。マレーシアにおける新工場の建設は計画通りに進捗。

	売上高		営業利益	
	H25年度3Q累計	H26年度3Q累計	H25年度3Q累計	H26年度3Q累計
化成品	794	824	16	13
機能性樹脂	629	711	68	80
発泡樹脂製品	501	499	35	31
食品	1,009	1,052	43	16
ライフサイエンス	345	398	51	67
エレクトロニクス	336	324	9	△8
合成繊維、その他	296	332	67	89
調整額	—	—	△102	△120
計	3,910	4,140	186	168

業績予想

- 一時的なマイナス要因が一巡し、4Q並びに次年度については、引き続き収益改善が見込まれます。
- ただし業績見通しについては、2Q累計期間の収益停滞の影響が大きく、通期の連結業績予想を以下の通り修正いたします。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想	5,600	300	290	170
今回修正予想	5,600	250	260	145
増減額	—	△50	△30	△25
増減率(%)	—	△16.7%	△10.3%	△14.7%
前年実績	5,248	248	260	137

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

トピックス

照明用LED反射材向け「高耐熱性樹脂」の販売を開始
— 高耐熱性と容易な加工性を実現 —

新製品

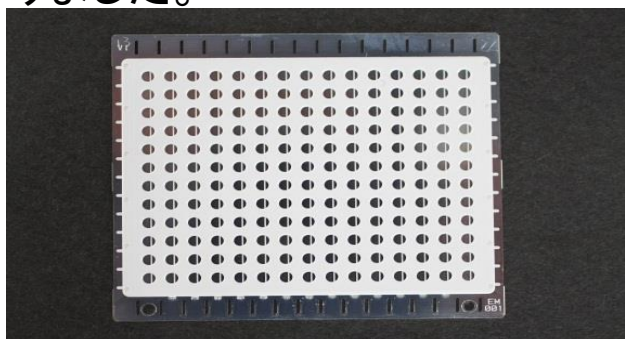
照明用発光ダイオード(LED)の反射材*向けに、耐熱性が
高く加工しやすい樹脂「ILLUMIKA™ W」を開発し、
2014年9月より販売を開始しました。

* 反射材(リフレクター): 照明用LED素子の背面につけられる樹脂で、生じる光を前方に反射して光を集中させ、LED照明をより明るくするものです。

反射材には、従来からエポキシ樹脂やシリコン樹脂が
使用されていましたが、エポキシ樹脂は耐熱性に、シリ
コン樹脂は強度及び成形・加工性にそれぞれ課題があ
りました。



「ILLUMIKA™ W」



反射材(リフレクター)

「ILLUMIKA™ W」は、新規ケイ素系耐熱
耐光透明樹脂(商品名:ILLUMIKA™)を
ベースにした白色樹脂で、耐熱性、強度、
成形・加工性に優れ、LED照明の更なる高
出力化を実現します。

2016年には、「ILLUMIKA™」シリーズ全体
で100億円の売上を目指します。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/141022>

トピックス

「簡易DNA抽出キット Version2」の販売を開始
—1つのキットで動物、植物由来のDNAの抽出が可能—

新製品

動植物由来の試料から、デオキシリボ核酸(DNA)を迅速・簡便に抽出できる、簡易DNA抽出キット*の新製品「カネカ簡易DNA抽出キット Version2」を開発し、2014年10月31日より販売を開始しました。

* 簡易DNA抽出キット: 遺伝子検査の際に、試料から迅速にDNAを抽出するために使用するキット



「カネカ簡易DNA抽出キット Version2」

従来品は、動物・植物・血液など試料の種類によって、別々の試薬を使い分ける必要がありました。

「カネカ簡易DNA抽出キット Version2」は、試料の種類を問わず1種類のキットでDNA抽出が可能となり、また抽出にかかる時間も従来品の約10分から8分程度に短縮できました。

DNA抽出に要する労力が軽減され、遺伝子検査の「迅速化」「簡素化」に貢献します。

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/141118>

トピックス

米国で眼科領域での医療器事業を本格展開
— 流涙症治療に使用する涙道チューブの販売を開始 —

新製品

流涙症*治療に使用する涙道チューブ「LACRIFLOW(ラクリフロー)」を、
2014年11月より米国で販売を開始しました。

* 流涙症—涙の通り道である涙道が狭くなったり閉塞する症状。少しの刺激でも涙があふれ、視界がぼやけたり、目の周りに炎症が起こったりします。放置すると、腫れや痛みを伴う涙嚢炎を起こすリスクが高まります。

* 流涙症の治療としては、閉塞部分にチューブを挿入して涙道を確保する手法と、外科的に鼻骨を取り除き涙道をバイパス形成する手法があります。日本では涙道チューブを挿入する手法が普及していますが、米国では安全性の高いチューブがなく、外科的治療が主流となっています。

「LACRIFLOW(ラクリフロー)」は、本体材料に生体適合性の高い当社独自のイソブチレン系熱可塑性エラストマー(SIBSTAR)を採用しており、従来のシリコン製チューブと比べて、挿入時に本体が破損する危険性が大幅に低減しました。

今後も患者の身体的負担が少ない手法の普及を目指し、米国市場で先進的な治療方法を継続的に投入して、眼科領域で5年後に売上高10億円を目指します。



「LACRIFLOW(ラクリフロー)」

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/141225>

トピックス

新しいケーキ用乳化油脂の販売を開始
—ケーキスポンジのボリュームが豊かで「ソフトで口どけの良い食感」—

新製品

新しい**ケーキ用乳化油脂「クレビスGL」**を開発し、
2015年2月1日より販売を開始しました。
ケーキのスポンジ生地に混ぜると、気泡が立ちやすく、気泡を安定化させる機能性油脂です。
「ソフトで口どけの良い食感」を実現します。

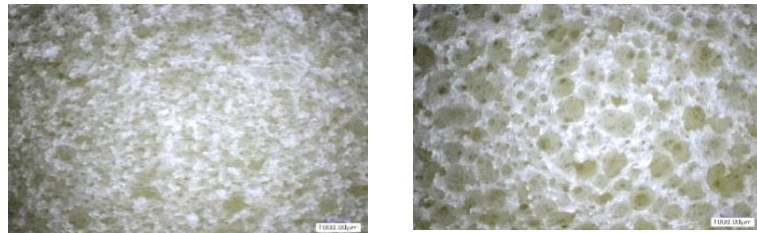


バウムクーヘンのボリューム
左が従来品、右がクレビスGL

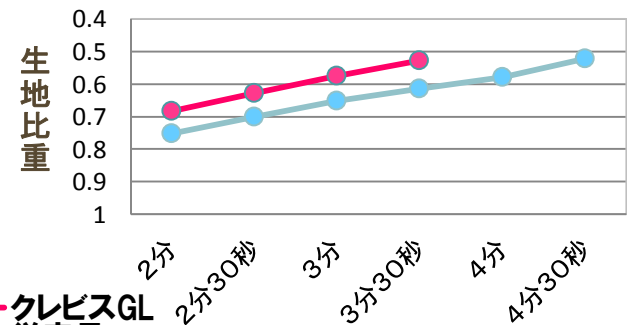
従来の乳化油脂には、気泡安定化に「プロピレングリコール脂肪酸エステル」が使用されていましたが、苦みがあることが指摘されていました。

「**クレビスGL**」は、苦みを出さずに、高い起泡力と気泡安定性を実現。

コンビニスイーツ市場の拡大に加え、2020年東京オリンピック開催に向けた観光需要など、成長が期待される菓子市場に積極展開し、2015年度売上高5億円を目指します。
また将来的にはアジア市場への展開も視野に入れます。



スポンジ生地の生地目写真(左が従来品、右がクレビスGL)



● クレビスGL
● 従来品

気泡力のデータ

ご参考: <http://www.kaneka.co.jp/service/news/150130>

KANUKA

The Dreamology Company

— Make your dreams happen —